

# 広報あがけ



発行/赤池町役場〒822-11福岡県田川郡赤池町大字赤池1146番地の1 ☎0947(28)2004 編集/総務課文書広報係

★町の人口★ 人口10,170(+17) 男4,821(+10) 女5,349(+7) 世帯合計3,448(+10) 平成元年5月末日現在 (は前月との比較です)

## 赤池中学校柔道部



第5回田川地区少年柔道大会優勝!!

後列：三洲、西尾、鶴岡、原田(副)  
前列：高橋、藤井、小松

「この畳から県大会へ行くんじゃない」と言って練習しています。創部五年目にして初めてつかんだ、「田川地区大会優勝」は中学校の部活動にとって何年か振りの快挙ですが、我々にとっては、それも一つの通過点にすぎません。

憶しく感じられます。やんちゃ盛り期の元氣者ぞろいだった我が部の第一期生も、今や十九歳の青年です。「最初は、そんな練習をしてきた。彼等が柔道を始めなければこの優勝も無かった」と、今でも生徒に語っています。その意志を受けつぎ、今年の生徒は、卒業していった先輩に負けまいと、よりいっそうの情熱と団結力を持ち、

※なお、長野君は両大会に出場しましたが、ケガで入院の為、写真に掲載できませんでした。お詫びします。

部活動だけでなく、学校行事も盛り上げる活躍、ふりです。今では畳も何とか三十枚ほど集めました。練習が終れば又、片付けるといった状態ですので、場所が狭いだけでなく、ケガをしないよう細心の注意を払わねばなりません。そういったことにもめげず、他校の「道場通い」の選手に勝つたことは柔道だけではなく、将来において大きな自信となるでしょう。

町内のみならず、赤池中学校柔道部を見かけたら「ガンバレ」とご声援よろしく願います。

赤池中学校 池田尚



平成元年度中体連春季大会優勝!!

後列：小椋、菊地、原田(副)  
前列：三洲、高橋、小松、藤井、篠原

## 7月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

## 土曜閉庁 7月は8日と22日

6月から毎月第2、第4土曜日は役場庁舎は、閉庁となりました。

ただし、町立病院・老人ホーム・小学校・中学校・町民会館・体育施設等の公共施設は閉庁しません。

人を傷つけてはならない  
人を傷つけてはならない  
いのち・愛・人権より

「不可侵」  
「不可被侵」  
人を傷つけてはならない、また侵されてはならない。

この言葉は、部落解放運動の父故松本治一郎氏のことばです。今は、自分の幸せを願うあまり、他人の幸せを願う人が多い。人は皆、幸福を願うものであります。この生きる保障はすべての国民がだれからも、さまたげられない「基本的人権」です。

部落に生れただけで、こうした願いをふみにじられ、幸福を奪っているのが、「部落差別」です。本町では、これまで部落差別の解消のため、同和問題の正しい認識と理解を全町民に求めて、町民が差別なく相互に人権を尊重する風土を醸成し、定着させることに人は法のもとに、平等でなくてはならない「生きる保障」これを奪ったのが「部落差別」です。

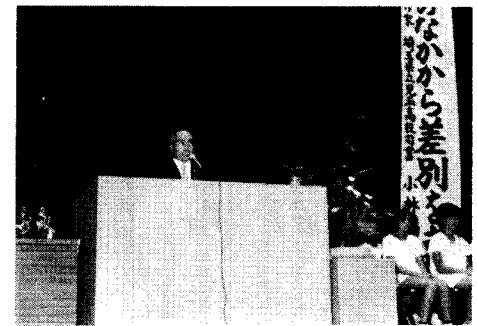
赤池町同和教  
育推進協議会（同推協）は、日頃から同和問題を正しく理解し、認識し、お互いの人権を守る人

啓発強調月間

家から町から社会から

赤池町同和教  
育推進協議会（同推協）は、日頃から同和問題を正しく理解し、認識し、お互いの人権を守る人

この7月1日、31日は、「同和問題啓発強調月間」として私たちの身の廻りにある女性差別、身体障害者差別、朝鮮人差別など生活の中での差別はむろん、特に「同和問題」は全く誤った考え方、見方、予断（前もって判断する）偏見（偏よった見方）で親から子供へ、子供から孫へと伝えられて今日まで至っているのがいわれもない差別「部落差別」なのです。



▲昨年の啓発強調月間講演会より

よって、部落差別を根本的に解決し、明るく住みよい心豊かなまちづくりにつとめてまいります。しかし、昨年行われた地区懇談会では、「差別のことはわかりましたが、私は差別をしていません」というように、自分の事だけで、他人のことは知らないといった自己中心的な考え方の人がいることも否定できませんでした。これは、同和对策審議会答申の精神が町民一人ひとりに正しく理解させるべく部落問題に対する啓発の在り方も反省せざるを得ません。

部落差別をなくせ

同和問題

権思想の高揚を  
目指し活動を  
していますが、特  
に7月1日から  
の1ヶ月間は同  
和問題強調月間  
としてなお一層

- 人権を守る人こそ 強い人  
赤池中学校二年 早麻美鈴
- 信じ合い ふれ合い言葉に 差別なし  
赤池中学校二年 三浦美紀
- 人権は みんなが持つてる たからもの  
赤池中学校三年 水上麻衣子
- 言葉より態度でつくる 人権意識  
赤池中学校三年 石津紫峰
- 人権はあなたの勇気で 守られる  
赤池中学校三年 野村百里

(3)

- 今日のため 未来のために 差別をなくせ  
上野小学校五年 深川明美
- みんな友達 差別をしない 明るい町  
市場小学校五年 池田桂子
- 手と手をつなぎ 笑顔で 明るい町  
市場小学校五年 保坂美雪
- ちょっとした悪口 その一言が 差別の芽  
市場小学校五年 波多紗千子
- なくそういじめ みんななかよし 平和な町  
市場小学校五年 成定奈緒美
- 見直そう まずは自分の心から  
赤池中学校一年 増住幸子
- 大切な 人の差別を止める勇氣  
赤池中学校一年 時千春
- これくらい いじょうと思つた  
赤池中学校一年 柴田美奈子

行事名	日時	実施場所	方法等
街頭啓発パレード	7月1日(土) 出発式 午前11時30分	町内全域 ①上野小学校区 ②市場小学校区	車によるパレード
街頭広報	6月30日 7月15日 7月28日	町内全域 (広報車にて)	
「いのち・愛・人権」ふれあい体操会(自由にご参加下さい)	7月16日 午前7時00分開会	町民グラウンド (雨天の場合 町民会館)	
講演(ひとり語り)(自由にご参加下さい)	7月28日(金) 午後7時 受付 午後7時30分開会	場所 同和对策中央研修所 演題 「とんとん橋のはなし」 講師 薄義人	

同和問題啓発強調月間

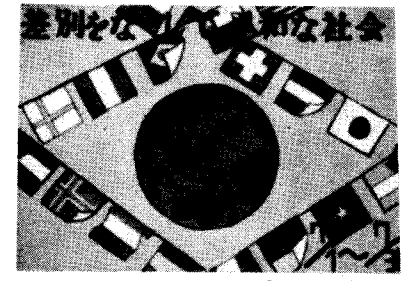
小・中児童



▲市場小6年 中村 聡美



▲上野小6年 中野 健太



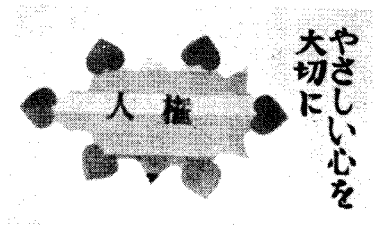
▲赤池中1年 時 千春



▲上野小6年 窪田 香織



▲赤池中1年 安延 恵子

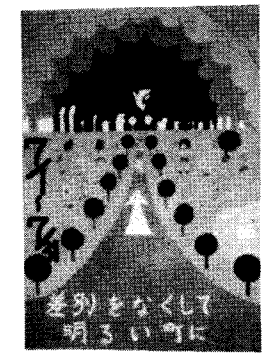


▲赤池中1年 浦田 賢子

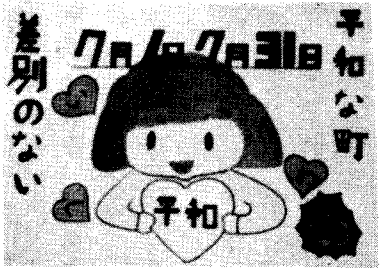


▲赤池中3年 熊谷 順子

生徒の力作



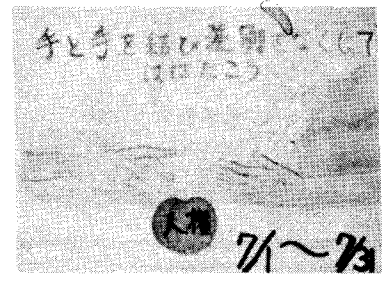
▲上野小6年 太田 耕司



▲市場小6年 中西めぐみ



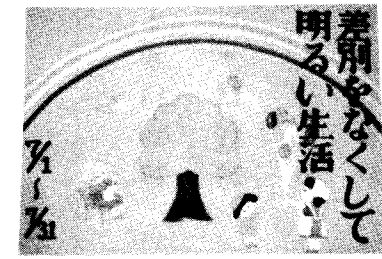
▲市場小6年 高野 勝行



▲市場小6年 柳川 えり



▲赤池中3年 今畑 裕美



▲赤池中3年 緒方 典子

みんなで考え、みんなで作ったポスター・標語  
学校では、学習の場や生活を通して、同和教育が実践されています。今年も同和問題啓発強調月に於ける学習の一環として小中学校児童、生徒のポスター・標語を募集し「自ら考え、体を通して人権尊重の精神をより深める」を目ざし、学習

# 自動車運転者

## 特別(法令)講習

いまわしい交通事故、この事故を無くしていくには、運転者のマナーアップ、法令遵守などが必要不可欠です。運転者(自動二輪、原付を含む)のみならず、他人に迷惑を掛けない為また自分自身の為に是非この特別(法令)講習に参加して下さい。

▶日時—平成元年8月6日(日)午後6時30分、受付開始、午後7時～9時まで開講

▶場所—同和対策中央研修所

▶受講料—無料

※特典 この講習を受けた日から1年以内に免許の更新をされる方は、免許の更新の時、過去3年以内に、違反歴、事故歴がある方の場合でも法令講習会が免除されます。従って免許証の郵送を依頼すれば、受付後25分位で帰れます。(普通違反歴があれば2時間の法令講習を受けなければならない為、受付後帰るまで2時間30分位かかる)

(注) 当日受講される方は免許証を必ず持参下さい。免許証に依り受講カードを作成します。

田川交通安全協会赤池支部  
赤池町交通安全推進協議会  
《問い合わせ》総務課企画係  
☎28-2004(内線243)

- 暴走行為に使用されるおそれのある改造車両、ナンバーのない車の隠し場所
- 自動車等の改造を行っている所
- 暴走行為により、被害や迷惑を受けているなど

◆連絡先◆  
田川警察署・交通課  
☎42-2120(内線二六五・二七六番)

# お年寄りの生活実態調査始まる



近年の高齢化社会の到来、核家族化による老人世帯、独居老人、

ねたきり老人の方が急増し、全国各地でさまざまな出来事が起つていきます。

赤池町は、お年寄りの現況を正確に把握するため、六十五歳以上の方の「生活実態調査」を実施しました。この資料を元に、今後の老人福祉対策を進めていきます。暑い中、雨の中、各地集会所に集まって頂き、取り調査に気軽に応じ、頂いて本当に有難うございました。なお、日程の関係で七月にこの調査を行う地区もありますが、ご協力よろしくお願ひします。

暴走族は車高を低く改造した乗用車、マフラーを改造した二輪車などで暴走行為を行い、善良な住民を交通事故の巻添えにすると共に、騒音などにより地域の皆さんに大きな迷惑をかけています。福岡県内の組織暴走族は、平成元年の三月末で三十三グループ、六百四十人で、この他およそ二千八百人の未組織暴走族がいると言われています。警察と、赤池支部を含む田川交通安全協会では、暴走族を根絶するため、厳しい取締りで臨むとと

# 暴走族



もに、地域ぐるみで暴走族を追放しようとする。「暴走行為をしない、させない、見に行かない」の三不運動を行っていますので皆さんのご理解と、積極的な参加をお願いします。また、暴走族に関して「見たこと」「聞いたこと」があれば、どんなことでも結構ですからお知らせ下さい。

町立病院の外科に勤務して、長いようで短かった二年間が過ぎました。前任の詫摩先生から引継ぎ少々荷が重いかなと思いつつも町立病院の外科の診療を守って参りました。当初は、患者さんがどれだけの私について来てくれるか不安でしたが、大変多くの患者さんに励まされ勇気づけられながら、大過なくここまで来ました。この度、人事異動にて町立病院を去ることとなりました。町立病院で手術を受けた患者さんの数もかなり増え、外科も徐々に充実し始めた矢先の転勤で、大変残念で申し訳なく感じております。最後にになりましたが、御世話になりました病院のスタッフの皆様方にはこの場を借りて厚く御礼申し上げますとともに、赤池町民の皆様方の御健康を心からお祈りいたします。



日野 富夫

退任しました  
ありがとうございました

# 町立病院

# 医師

# 就任のあいさつ

6月から町立病院が、更にパワーアップしました。今後とも町民のためにと、一段と張りきっておられる先生方を紹介します。

副院長  
北 政義



自治医大卒業後、約十年の県の命による派遣義務期間を終え、去る五月末日、県を退職し、六月一日付をもって改めて赤池町に就職致しました。同時に、町立病院副院長を命ぜられました。若輩者ではございますが、町民の皆様の御指導のもと、信頼される、より良い町立病院作りに、誠心誠意取り組みたいと決意致しております。宜しく御願ひ申し上げます。

さて、町立病院の今後の課題と思われるのは、短期的には、増床及びリハビリ部門強化に伴う諸問題、外来待ち時間の短縮化、給食時間の適正化等があり、検討しております。次に、やや長期的な課題ですが、地域保健福祉活動への参入です。つまり、健康教育、健診、人間ドック等の保健予防活動や訪問看護、在宅リハビリ等の福祉活動にも、積極的に取り組まねばならないと考えています。又、昨今感じられるのは、病院に受診される患者さんが、赤池町内の方々に限らず、近隣市町の方

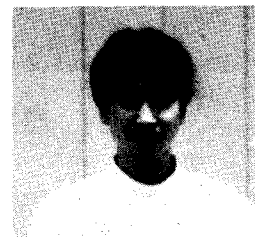
外科嘱託医師  
詫摩 衆三



々が、かなり増加してきていることです。このことは、とりも直さず、町立病院が、将来的に、より広域的で、より高次の医療機関に発展していかなければならないのではと考えています。最後に、私共病院職員は、町民の皆様方の健康度の向上が、最大の目標であり、喜びとするものであります。重ねて町民各位の御指導を得られますよう切に御願ひし、副院長就任の挨拶と致します。

この度、六月一日より赤池町立病院に外科非常勤嘱託医として一年間勤務させて頂くことになりました。昨年より隣町の方城町立病院に常勤医として勤務している関係で、外科手術の時に日野先生のお手伝いをさせて頂きましたが、今年は正式に嘱託医としての辞令を頂き、新任の外科の前田先生の助手として、町立病院での診療業務に従事することになりました。とは言っても、毎週火曜日の外来診療、病棟回診、手術が中心となりますが、微力ながらみなさまのお役に立ちたいと思っております。

外科医長  
前田 彰



六月一日付で赤池町立病院に配属となりました。外科という皆さんは手術ということをお頭に浮か

で、どうぞよろしくお願いいたします。

私は、去る昭和六十年六月より二年間赤池町立病院に勤務しましたが、赴任当時手術室もなく、まず手術室の機械・設備の選定・購入から始めた思い出があります。その手術室で、この四年間に約六百例の手術が行われました。短期間で町立病院は非常に大きな発展をしてきました。少なくとも医療内容・レベルに関しては、周辺の町立病院と比較しても、決して遜色ないレベルに達していると言えらると思います。今後、外来待ち時間の短縮、ベッド不足の解消、手狭になった外来・病棟施設の拡幅・新築など、一層の医療サービス向上に向けて努力していかねればなりません。

べられるかもしれません。確かに手術は我々の大切な手段でありますが、むやみにすべきものでもありません。それ以外の部分があるかに多く、またそれゆえに各科の基本診療に習熟していなくては行けないと思います。日々努力し、皆さんのわずかな訴えにも気軽に相談できる窓口であるように心がけたいと思います。

できていますが、各々の小さな町で町立病院を経営して行くことの効率の悪さと、各病院間の連携の必要性を痛感しました。一町村内だけでなく、広域的にこの下田川地区で、効率的かつ包括的な医療を実現していくべきだという印象を抱きました。慢性疾患の治療と一次救急を基本に、さらに二次医療の一部と予防衛生活動までカバーできる地域中核病院が必要だと思っております。明るい筑豊地域社会の将来に向けて、今後とも皆様方に広く町立病院が信頼され、下田川の地域中核病院の母体として発展されることを切に願っております。

最後に、昨年来、私を熱心に招聘して下さいた日野町長はじめ議会関係者の方々に厚く感謝致します。

# 夏が来た！赤池の油断大敵・夏の事故

梅雨も明け本格的な夏の到来となった。子ども達にとっては絶好の好楽シーズンの開幕である。

然の中を駆けまわることだろう。地域行事も、この時期に集中し躍動的なシーズンでもある。

「心身共に健康な毎日を送るためには…」をテーマに今年も7月7日、高齢者教室「養命大学」が開講されます。

今年も7月7日、高齢者教室「養命大学」が開講されます。高齢者に生きがいのある生活を送ってもらうために始められたこの教室も今年で17回目を迎え、息の長いものとなりました。

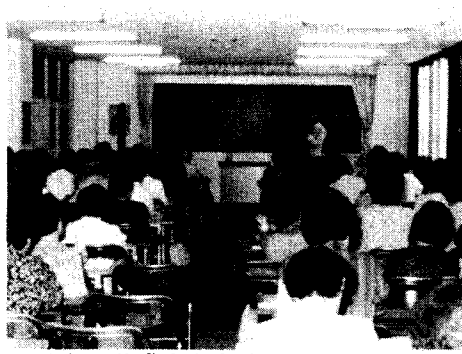
今年度は、色々な要望も取り入れ、新しい講座を増やしたり、期間を延ばしたり、さらに多くの受講生を期待しています。ご近所誘い合って、ふるって参加加しましょう。

## 今年も熱戦を期待

郡民体育大会開幕

開講時期になると「今年はいつからかね」と問いあわせが殺到する程、年々受講生も増えていきます。自分のための時間を少しでも多く持ちたいと何かを求め続ける気持ち

広く郡民のあいだに体育、スポーツを振興、その普及、発展とスポーツ精神の高揚をはかり、一層の健康で明朗な郡民生活の確立に寄与することを目的に第28回田川郡民体育大会が、6月25日(日)から添田町を主会場として開始された。本町からも7種目に8チームがエントリーしています。



▲昨年の養成大学より

日頃の練習の成果を十分に発揮し、技術の向上と友好の輪を広げることがを願っています。大会日程は、次のとおり。5月24日(土)ゲートボール、6月25日(日)陸上、7月2日(土)バスケット



▲今年も激走一般男子100m 長谷川純一(車道)さん



## 人の心の豊かさをとめて

雨の舗道で、通学児童に泥水を跳ねかけた運転手が「洗濯代に」と学校へ千円を届けた話が先日新聞で紹介されました。同様に「幼気(いたいけ)な子どもに迷惑をかけては」といった、大人の良心、わが町内でも見かけました。うっとうしい梅雨の中で雨はやはり「真珠の小粒」ですネ。(投稿)

## 図書室だより

子ども時代は短い子どもは水ノ日々成長しています。かけがえのない大切な神様からの贈りものです。大人が外から枠をはめる事を許さないくらい素晴らしい素質をもった存在です。本の世界を教えてあげたい。

## 「第1ゲート通過」

審判の大きな声！「ハイ行きます」と選手の大きな声！早朝より「若い者にはまだまだ負けられん」とステイックを肩に足取りも軽やかに、ゲートボール場へ向う高齢者の方が、一段と増えたようです。暑さにも負けず熱戦を交えている元気がいっぱいのおじいちゃん、おばあちゃん。そうかと思えば朝のすがすがしい空気の中で夫婦づれや初老の人々が、ジョギングや犬の散歩を楽しんでいる。グラウンドでは少年野球、少年サッカーの子供達が汗を流しながら一生懸命にボールを追っている。体育館では剣道・空手・バドミントンに励んでいるこどもの姿を見かける。スポーツには、どの種目にもルールがあり、ルールに従ってゲームを行う。守らなければ、審判から罰則を取られてしまう。生活の中にもルールがある、家庭の中、地域で、学校で、職場で……いろいろなルールの中で、私達の生活は成り立っている。最近町内では悲惨な交通事故が多発しているが、これも交通ルールを守ってさえいれば大部分の事故は防げていたのでは。社会的ルールとは、押し付けられるものではなく、自らが注意し守ってゆくものである。今、一度見直せ、生活のルールを!!

## わが町往來

軟式野球大会 第2支所が連覇 13回 町民軟式野球大会が、6月11・18日の両日にて日程を終了した。

19チーム32名が参加して行われた同リーグ、22支所の14勝4敗の好成績を残して初優勝を飾った。尚、7月10日(月)瀬高町の船小屋温泉で行われる全国大会福岡県予選に両チームの参加が決定。ご声援をお願いします。

町民の多く利用をお願いします。赤池少年Jrベアーズ 7月23日15周年記念大会開催 24日の両日に、町民球場で、記念大会を開催、参加は町内外より30チームの予定。

町内ピアノ指導者 昨年、町初めての会合開催 が50周年事業の一環としてランドピアノを購入、ピアノを全町民のものにするため、町内の指導者が集まり、ピアノ開きの具体的な計画ははじめ、今後の文化、音楽活動の取り組みについて協議をし、本町の目指す「文化の町」を側面から応援することで閉会しました。

11チームが参加、町民球場・赤池中Gをつかってトーナメントで行われた同大会、連覇を目指す2支所チームの壁は厚く、つき破ることが出来なかった。尚、準優勝は7支所チームでした。ゲートボール連覇前期 3月リーグ 22支所が優勝 より開

幕したG・B主催(清原義則会長)の前期リーグが、6月17日をもって日程を終了した。19チーム32名が参加して行われた同リーグ、22支所の14勝4敗の好成績を残して初優勝を飾った。尚、7月10日(月)瀬高町の船小屋温泉で行われる全国大会福岡県予選に両チームの参加が決定。ご声援をお願いします。

町民の多く利用をお願いします。赤池少年Jrベアーズ 7月23日15周年記念大会開催 24日の両日に、町民球場で、記念大会を開催、参加は町内外より30チームの予定。



昭和48年5月、声高らかに産声をあげ、現在まで地域活性化の担い手である地区公民館連合会。各地区公民館の連絡調整や町をあげての催し物の推進役として常にリードし、町内諸団体の、親、的な自主団体である。定例的に会議を開き地域の問題や課題について協議し地域を生かす方向や赤池をどんなまちにしようかと真剣に話し合っている。今後も地区公連に課せられた問題は大きく深いと思うが、この組織力とけん引力で解決し、より良い方向へ導いてくれるだろう。◆今年度役員(敬称略) 会長=太田荒喜、副会長=坂元重正、藤井康信、久富静義、立川忠義、専門委員=平元光年、木月繁美、日野茂春、平川秀子、宇都宮征子、常務理事=林 道治、顧問=立花杉夫

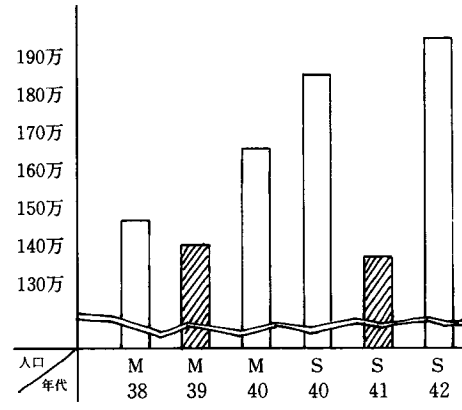
## わたしたちの生活と「丙午」

### 丙午の迷信について

わたしたちの生活やしきたりの

中で、六曜の迷信(友引き、大安仏滅)などについて掲載してまいりましたが、このような風習や習慣が、世の中の多くの人びとをまどわせ、不幸にしている場合が多く見られます。

十二支にまつわる迷信の中でも特に「丙午」という言葉を耳にしたことがあると思います。下のグラフをご覧ください。このグラフは、日本の男女の子



どもの出生数です。明治39年、昭和41年の両年は、「丙午」といわれる年に当ります。丙午の年は、グラフでもよく解るように、子どもの出生数が、大はばに少なくなっているのがよく解かります。「丙午」の年は、六十年に一度の周期でまわって来る年のことで、この迷信のおこりは、中国の古い本に「丙午の年には国家に災事がおこるかもしれない」と書かれているのを日本では、江戸時代の初めに「変事を大事」と解釈したため「丙午」の年には火事が多いなどといわれるようになりまし。そして有名な

「八百屋お七」の話があったから元禄時代(今から3百年ほど前)に火事から切りはなされて「丙午の年に生まれた女は気が強くて夫を食い殺す」と変ってしまったのです。そのため、丙午の年になると生まれきた子どもが、あつちこつちで密殺されたり、人工流産をして子どもの生命を断つたりして、大きな社会問題にもなりまし。現代でも、意識的に出生を制限したり、妊娠中絶などが行われ、子どもの出生が翌年に集中し、受験競争を一層激化させるとい問題にまで発展しています。このように全く根拠のない迷信が残るかぎり女性や、夫婦の苦し

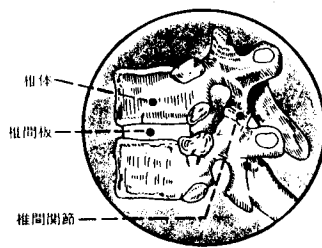
みがつづくのではないのでしょうか。この他にも、全く根拠のない迷信は数多くありますが、このような迷信に、わたしたちの生活の中に密着し、今でも生きつづけているのです。こうした、まちがった習慣に一日も早く気づき、ものごとを正しくとらえ、行動していくことが大切ではないでしょうか。

## 今月の解放講座

とき 7月26日(水曜日) 午後7時30分 同和対策中央研修所 自己をみつめ、暮しを高める解放講座へ、是非どうぞ。

# 腰痛でお悩みの方へ

腰痛は人間であるからには誰でも持っている悩みです。これには、(1)背骨の関係した腰痛、(2)内臓が悪くて起こる腰痛(胆石、腎臓結石、胃・十二指腸・膵臓・婦人科・泌尿器科の病気)、(3)ストレスやうつ病などの精神科の病気などで起こる腰痛があります。今回は、背骨の関係した腰痛についての話です。



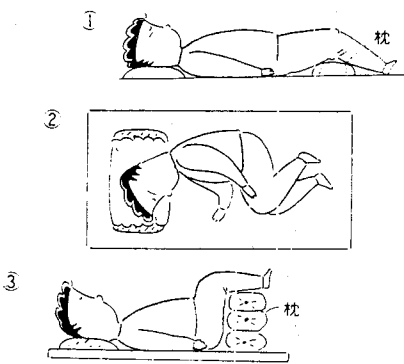
人間の体を支えているのは背骨すなわち脊椎です。そして脊椎は周囲の筋肉によって支えられ自然

なカーブをより正確に保っています。この自然なカーブ、無理のない姿勢を保っていることが腰痛の治療および予防の原則になります。そのためには、椎体と椎体との間にあってクッションの役目をしていける椎間板の内圧を高めないよう、中腰で前かがみの無理な姿勢をできるだけ少なくして、椎間関節に負担をかけないようにすることが必要となります。

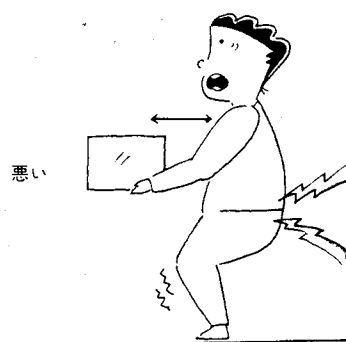
- ★長い時間同じ姿勢をとらない。
- ★中腰の姿勢をとらない。
- ★体重を増やさないようにする。
- ★規則正しい生活をして過労を避ける。

## 健康教室

赤池町立病院  
整形外科医長  
浅野 茂利



て持ちましょう。痛みのある時は、重いものを持つことは避けてください。④女性の靴のかかとはいくらか低く、ハイヒールなどは腰に負担がかかるので避けてください。



悪い

以上のように注意しても腰痛が続く時は、レントゲンで骨に異常があつて治療が必要なが多いので、整形外科を受診したほうが良いでしょう。さらに足の痛みや、しびれもある時は、神経が圧迫されていることが多く早目の治療が必要となります。

# お元気ですか 保健婦です

日本は胃ガン王国です。年間約五万人の人が胃ガンでなくなっています。でもガンも発見が早ければ治るといふ知識が広まり、各地域や職場での検診を受ける人が多くなり死亡率はピーク時の半分までに減りました。

赤池町では昨年当町で行っている検診車による胃ガン検診を受けた人は全部で百八十五人です。その内「もう一度精密検査を受けて下さい」という通知をもらつて、おつかなびつくりした人は十九人でした。でも全員再検査をした結果ガンであつた方は一人もいませんでした。だいたい福岡県での胃の病気の発見は胃ガン→〇・一九パーセント、胃ポリープ→〇・五三パーセント、胃潰瘍→一・六三

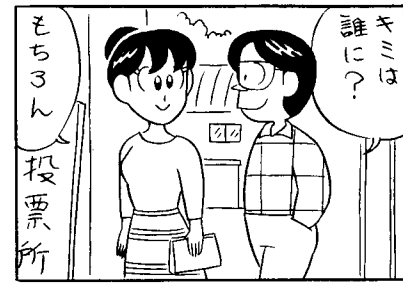


胃ガン検診  
平成元年七月二十一日  
受付時間 九時～十時半  
対象者 四十歳以上  
料 金 千円(但し70才以上は無料)  
場所 同和対策中央研修所

パーセント、十二指腸潰瘍→〇・五七パーセント、胃十二指腸潰瘍→〇・一六パーセントです。いわゆる胃ガンは五百人に一人の割合で見つかつていることになり、いま胃の調子が悪いなアと思つている人は迷わず検診を受けましょう。せっかく御自分の体がテレパシーを送っているのに放つておいては可哀そうです。又自覚症状のない人も検診を習慣づけましょう。

## 明るい選挙②

### 日ごろから政治に関心を



ありがとうございました

(順不同・敬称略)

赤池町社会福祉協議会

六月十四日現在  
【香典返し】世良京子(堀田)〇志和ハナ(高尾)〇加藤修三(草場)〇坂元サツキ(草場)以上四件で総額二十二万円です。

【寄附】九光石油 五千元 〇赤池町ゲートボール連盟 一万元 〇藤井悟 一万元 〇山下次男 十万元 〇矢野キクエ 五千元 〇匿名の方三名 九千元  
【ふれあい基金】柴之門 二千元 七十円

【吉切手】匿名の方 千五百枚  
【特別賛助会費】企業・法人、一口 一万元 〇福祉センター内食堂 〇内田歯科医院 一口  
【賛助会費】個人・一般、一口 千円 〇久松ミサヲ 五百円 〇奥村ウ

### 7月福祉センターの行事

【休館日】 3日、10日、16日、17日、24日、31日	【仏教講演会】 13日、午前11時～
【バス運行日】 毎日運行	【心配ごと相談日】 7日、18日、27日
【演芸】 入館者へ自由に舞台を提供します	【母子婦人相談日】 26日、午前10時～午後3時
※ゲートボール場(ナイター可)も自由にご利用下さい	【健康相談日】 第2水曜日、12日(休) 午前10時～午後3時

### 健康講演会開催日変更

七月より健康講演会を第2水曜 日午前十一時からに変更します。  
老人ホーム天郷荘

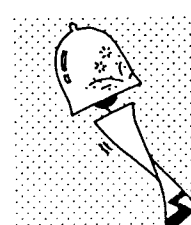
〇太田隆徳(上野) 菊苗100本 〇睦鳳恵(飯塚市菰田) メロン15kg

赤池町身体障害者福祉会

六月号三ページの「身体障害者福祉会役員」に八区の木村一夫氏

お詫びして、訂正します。

なお、昭和六十二年下期物品販売福祉収益金として、二万四千三百八十円となりました。皆様方のご協力感謝致します。ありがとうございました。



### 予防

### 相談

### 検診

### 投稿

一銭渡し(前月より)

鈴夢

舟底にそつと腰をおろすと舟縁にすぐ川面があり、手を差し伸べて川の感触を楽しんだ少年の日が無性に懐かしく思い出される。世の移ろいと共に近代的な橋が次から次へと架設され「一銭渡し」は段々と消えさり、この近郷ではその姿を再び求め得るべくもない。

### 編集室より

みなさんの投稿、大歓迎します。  
俳句、短歌、詩、随筆などどんなものでも結構です。本名、ペンネームは問いません。  
又、名前だけでなく顔写真も載せて欲しいという方も受け付けます。  
どしどし投稿して下さい。

### 赤池町選挙管理委員会

- 三種混合 二十日(木) 町民会館 13時30分～14時30分 対象者 生後24ヵ月～48ヵ月
- 一歳六ヵ月健診 十九日(木) 町民会館 13時30分～14時30分 対象者 生後一歳六ヵ月～一歳九ヵ月児
- 乳児保育相談 十七日(月) 町民会館 10時～11時 対象者 生後4、7、10ヵ月児
- 六日(木) 町民会館 13時30分～14時30分 対象者 満三歳以上
- 日本脳炎 十七日(月) 町民会館 13時30分～14時30分 対象者 満三歳以上

国政を肌で感じるこの一票

第15回参議院議員通常選挙

投票は7月23日(日)

第15回参議院議員通常選挙は、7月5日に公示され、7月23日に投票が行われます。

◆投票は⇒最初に選挙区選挙の投票をし、次に比例代表選挙の投票をします。この場合、選挙区選挙は個人名、比例代表選挙は政治団体の名称を書いて投票します。

◆投票できる人は⇒満20歳以上の日本国民はすべて選挙権を持っていますが、選挙人名簿に登録されていなければ投票をすることができません。住所を移転され、その市町村の選挙人名簿に登録されていない方でも、前の住所地に登録されていれば、その登録地で投票できます。

具体的には昭和44年7月24日までに生まれた人で、平成元年4月4日までに転入届をし、引き続き住民登録されている人で、その他、法で定める一定の欠格要件に該当しない人です。

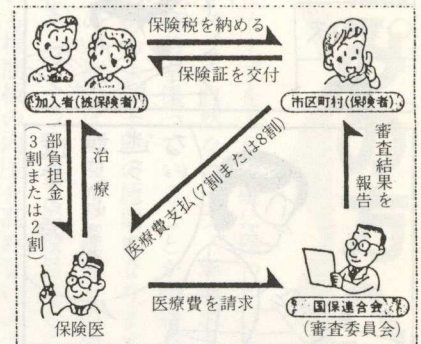
◆入場券は郵送します⇒今回は、投票所入場券は郵送する予定です。7月17日頃には、お手元に届くよう準備を進めています。入場券は、住民登録されている住所地へ郵送いたします。なお、入場券は投票事務をスムーズに執行するための手段として発行するもので、それ自体で選挙権の有無とは関係ありませんが、7月20日頃までに届かない場合は町選管へお問い合わせ下さい。

☎28-2004

国保のしくみ



国保を運営しているのは、みなさんの住んでいる市区町村で、これを保険者といいます。職場の健康保険に入っている人などを除いて、その市区町村に住んでいる人は、みんな国保の加入者(被保険者)になります。



さわやかな夏の便りを

♥愛する人に 暑中見舞ハガキ発売中

6月15日から、楽しい景品のついた暑中見舞ハガキ「かもめーる」を販売しています。種類は「イルカ」「ちょう」「いちご」「日南海岸」と無地の5種類です。ちなみに当たるとうれしい景品は「10万円相当の旅行券」、日本各地の名産品をパックした「小包パック」「切手シート」です。お近くの切手類販売所でも、販売していますので、早目にお買求め下さい。

赤池郵便局



「日南海岸・福山小夜画」

コスモスの苗お分けします

赤池町の花「コスモス」の苗を無料でお分けします。

これは赤池町の老人会、社会福祉協議会のご協力により育てていただいたものです。ご希望の方は連絡して下さい。

なお、苗の受取りは毎週火、木、土曜日の午前10時～午後2時までです。

問い合わせ：赤池町社会福祉協議会

☎28-4646(福祉センター内)

六月十七日、美空ひばりさんが亡くなりました。右のポケットにや夢がある「笛に吹かれて逆立すれば」「節も悲しい口笛が」「長い旅路の航海終えて」「りんごの花びらが風に」。思いつくままに彼女の歌の詩を書いて、これだけ出てきます。勿論、私が歌好きな事もあるでしょうが、みなさんの心の中にも、ふと唇の端に浮かぶひばりのメロディーがあるのでは？ファンからサインを頼まれると色紙に書いていた言葉「今日の私は明日は勝つ」享年五十二歳。

編集室



7月は固定資産税2期分の納税月です